

Observability FORECAST_2023

最大規模の包括的なオブザーバビリティ調査からの主要な考察

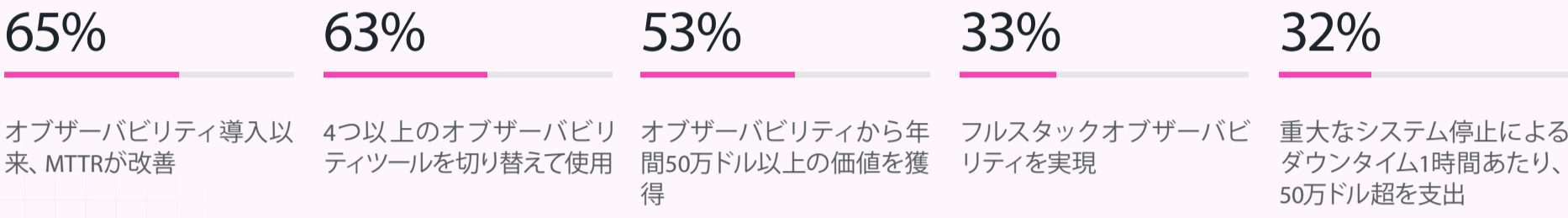


2023年のオブザーバビリティ予測のハイライト

15カ国
1,700名の
技術専門家

New Relicは、Enterprise Technology Research (ETR) とパートナーを組んで、年次オブザーバビリティ予測レポート第3版を作成し、オブザーバビリティの現状と今後について調査・分析しました。調査は、オブザーバビリティのビジネス価値、投資利益率 (ROI)、およびコストと収益への影響について、アジア太平洋、欧州、北米にわたる15カ国の技術専門家1,700名を対象に実施しました。本レポートでは、システム停止の頻度、平均検出時間 (MTTD)、平均復旧時間 (MTTR)、コストといったサービスレベル指標についてベンチマーク評価も行っています。以下にハイライトをまとめました。[調査結果はこちらからご覧いただけます。](#)

オブザーバビリティの現状のハイライト



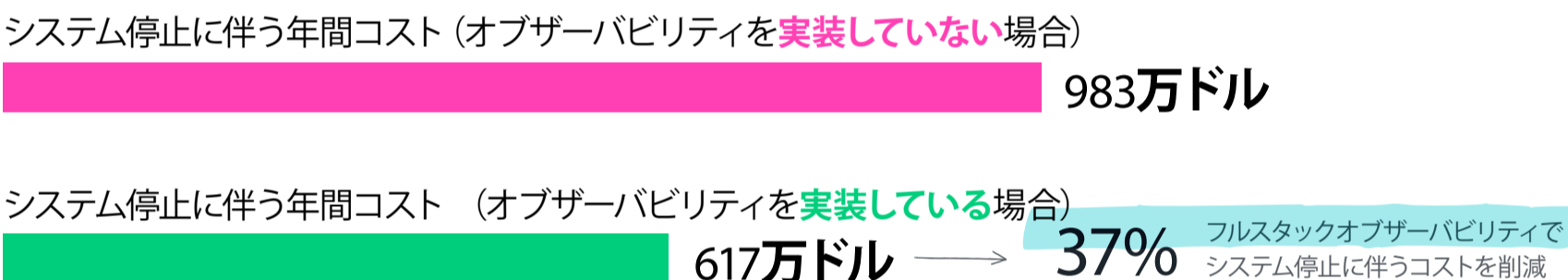
ハイライト: オブザーバビリティの未来

83%	82%超	47%
少なくとも1つの機能を来年以降に、導入予定	2026年までに17のオブザーバビリティ機能を導入予定	オブザーバビリティツールを最大限活用するため、トレーニングを計画

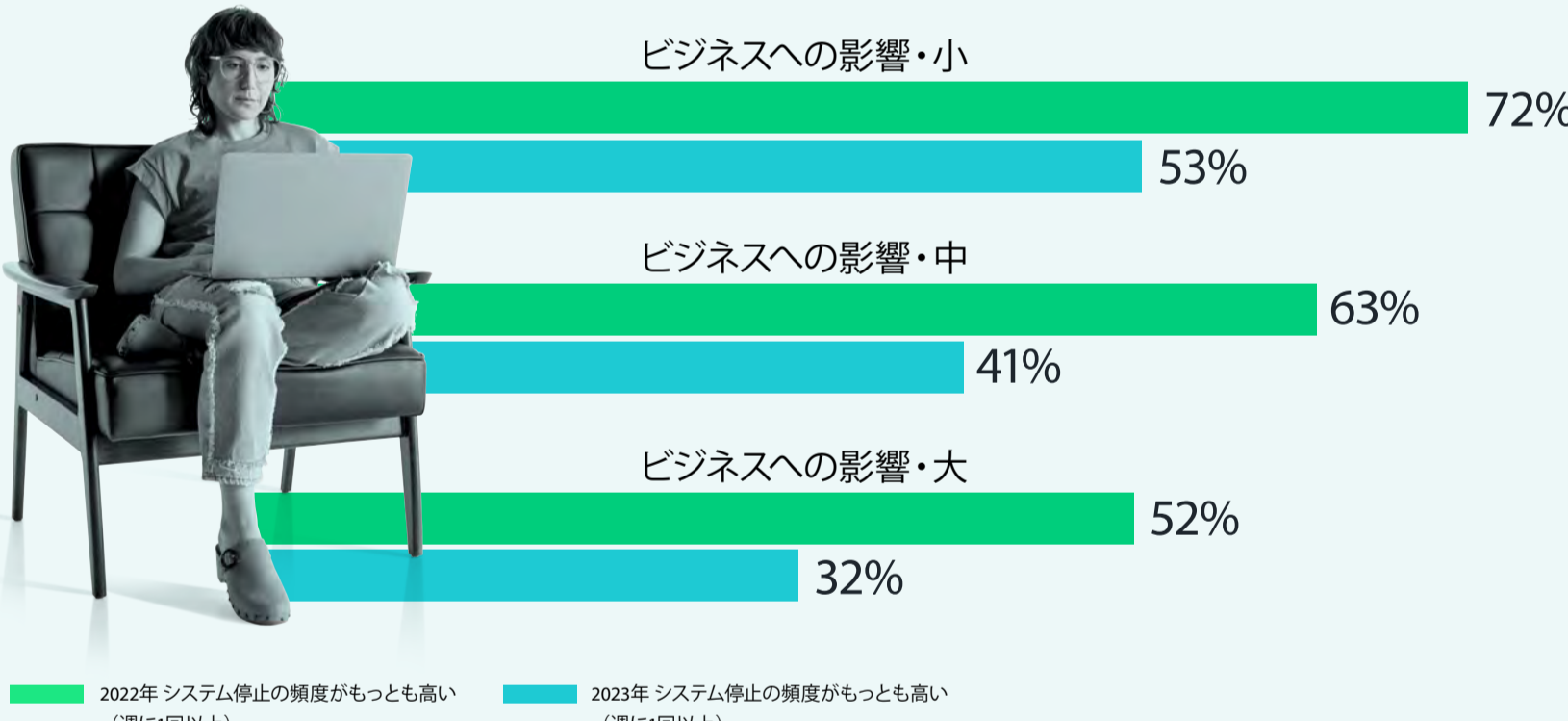
“ビジネス価値に関しては、多くの組織同様、なるべく経費の節約を目指しています。予算には上限があり、自分には財務権限もないからです。また財務や事業部門の担当者たちと話をするときには、数字を正当化し、表現する必要があります。ドルやセントでオブザーバビリティの欠如を表現できれば、それは説得力ある発言となり得ます。”

グローバルインフラストラクチャー部門シニアディレクター
大手メディア/マーケティングエンタープライズ

システム停止に伴う年間コスト (中央値) は775万ドル オブザーバビリティが有効



システム停止は対前年比で減少



フルスタックオブザーバビリティの成果との相関関係



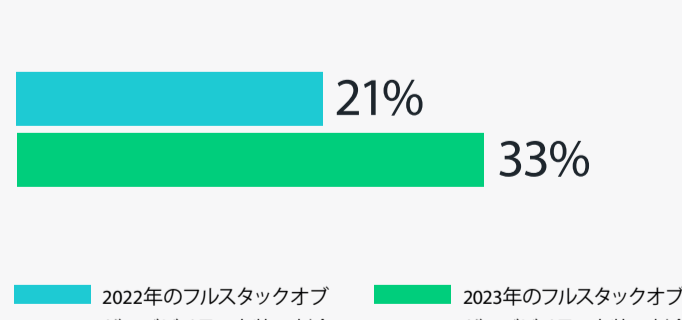
オブザーバビリティにより、年間2倍のROIを実現



ツール数は減っているが、ツールのサイロは根強く存在



フルスタックオブザーバビリティ実装の割合が増加



レポート全文を見る

2023年オブザーバビリティ予測

2023年12月公開
作成者: New Relic プリンシパルコンテンツマネージャー、Alicia Basteri

```
jaeger_exporter =
  JaegerSpanExporter(
    service_name="you
    agent_host_name=
    agent_port=6831
```